

PCA 公益法人会計 V12 期末更新(再更新)方法

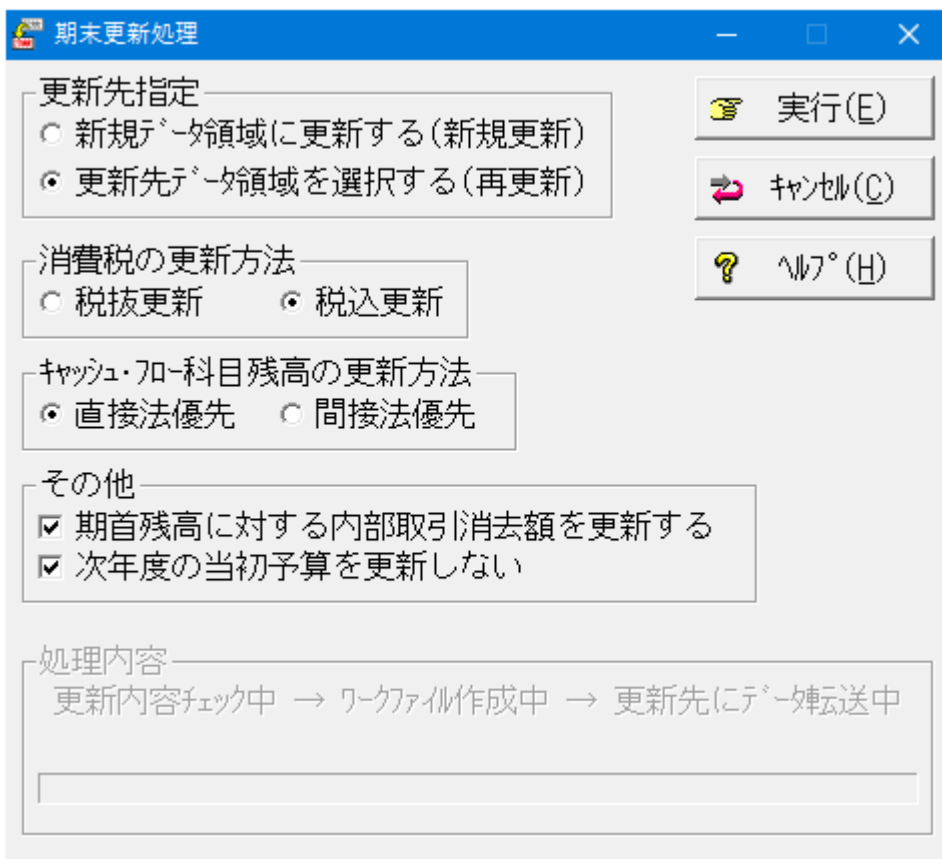
(画面例はすべて『PCA 公益法人会計 V12 EasyNetwork』を使用しています)

【期末更新（再更新）概要】

既に『期末更新処理』を実行して新年度領域を作成されている状態で、前年度データの追加・修正・削除を行った場合や前年度決算が確定した際に行う処理となっております。

【期末更新操作方法】

『ファイル』 - 『データ領域の選択』から前年度領域（決算期間データ）を選び『ファイル』 - 『期末更新』を選択します



【更新先指定】

更新先データ領域を選択する(再更新)を選択します。

【消費税の更新方法】

税抜更新・・・決算において、仮受消費税と仮払消費税の相殺仕訳を起こしている場合に選択

税込更新・・・決算において、消費税の相殺仕訳を行っていない場合はこちらを選択

【キャッシュ・フロー科目残高の更新方法】

キャッシュ・フローを出力する際に、どちらを選択しているかで判定します。

キャッシュ・フローの出力を行っていない場合には、現状のままスキップしてください。

【その他】

～期首残高に対する内部取引消去額を更新するに～

・内部取引消去機能を使用されており、今年度の内部取引対象の勘定科目毎に合計金額を集計し新年度領域の内部取引消去調整入力の期首残高に反映させる場合にチェックを入れます

～次年度の当初予算を更新しない～

・[次年度の当初予算を更新しない]にチェックを入れますと、決算期間領域の[次年度予算]で入力しましたデータが新年度領域の[当初予算]に反映されます。

新年度領域にて当初予算の追加・修正等をおこなっている場合にはチェックを入れずに実行してください。

法人コード	法人名	会計期間
0001	ピーシーエー協会 (公益認定サンプル)	2016/04/01~2017/03/31
0001	ピーシーエー協会 (公益認定サンプル)	2017/04/01~2018/03/31

実行を選択しますと上画面が開きますので、新年度を選択して『OK』ボタンを押します。

更新内容: 再更新 (税抜・間接法優先・予算更新する)

更新元情報

領域名: PKH120005
法人コード: 0001
法人名: ピーシーエー協会 (公益認定サンプル)
会計期間: 28年 4月 1日 ~ 29年 3月 31日

更新先情報

領域名: PKH120001
法人コード: 0001
法人名: ピーシーエー協会 (公益認定サンプル)
会計期間: 29年 4月 1日 ~ 30年 3月 31日

上記の内容で更新します。よろしいでしょうか?

上画面では、更新元・更新先領域に間違いがないか確認頂き、間違いがなければ『OK』ボタンで再更新が始まります。

期末更新処理

更新先指定

- 新規データ領域に更新する(新規更新)
- 更新先データ領域を選択する(再更新)

消費税の更新方法

- 税抜更新
- 税込更新

キャッシュ・フロー科目残高の更新方法

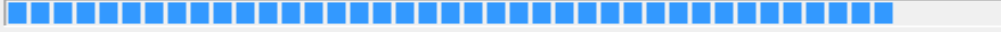
- 直接法優先
- 間接法優先

その他

- 期首残高に対する内部取引消去額を更新する
- 次年度の当初予算を更新しない

処理内容


更新内容チェック中 → ワークファイル作成中 → 更新先にデータ転送中
ただ今、過年度実績データを転送中(転送済: 234件)



期末更新処理

期末更新処理が完了しました。

更新先領域 : PKH120001
法人コード : 0001
法人名 : ビーシーエー協会 (公益認定サンプル)
会計期間 : 29年 4月 1日 ~ 30年 3月 31日

 終了

再更新が始まりますと上画面の赤枠内が動きます。最後まで行きますと「期末更新処理が完了しました」と表示されますので『終了』ボタンを押して再更新が終了となります